

歩掛参考見積募集要領
(業務名) 長良川河口堰フォローアップ関連資料作成業務 (仮称)

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和6年4月10日

独立行政法人水資源機構
長良川河口堰管理所長 荒川 敏之

1. 目的

この歩掛参考見積募集要領は、長良川河口堰管理所で予定している業務の積算の参考とするため、作業歩掛等を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争(指名競争)参加資格業者のうち、測量・建設コンサルタント等の業種区分の「土木関係建設コンサルタント業務」の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」(平成6年5月31日付け6経契第443号)に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域内において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

歩掛参考見積書には、別紙1「見積仕様書」に示す業務項目毎に必要な技術者の歩掛等を記載し、次のとおり提出して下さい。

なお、歩掛参考見積書の様式は問いませんが、別紙2「歩掛参考見積書記載例」を参考にして下さい。

- (1) 提出期間：令和6年4月19日(金)から令和6年4月26日(金)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出先
独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所長 荒川 敏之 宛
【担当】管理課 野田
〒511-1146 三重県桑名市長島町十日外面136番地
TEL：0594-42-5012(代表) FAX：0594-42-5020
- (3) 提出方法
書面は郵送又はFAX(社印があること)により提出するものとします。
なお、郵送の場合は提出期間内必着とします。

4. 参考見積内容

(1) 本業務の概要

本業務は、長良川河口堰管理事業について、令和7年度中部地方ダム等管理フォローアップ委員会(以下「FU委員会」という)に諮るための定期報告書作成に必要となる令和5,6年次報告書の作成を行うものです。

また、令和2～6年次報告書の作成に用いたデータを用いて、令和7年度定期報告書（概要版を含む）（令和7年度データ更新版）の作成および管理所が保有する環境調査データベースへ登録を行うものです。

(2) 本業務の項目、作業内容・数量

別紙1「見積仕様書」に示すとおりとします。

(3) 業務期間

令和6年6月頃～令和8年3月頃まで

(4) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(5) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和6年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(6) 見積り有効期限は、令和8年3月末までとします。

5. 募集要領に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和6年4月10日（水）から令和6年4月17日（水）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3.(2)に同じ。

(3) 提出方法：3.(3)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和6年4月19日（金）から令和6年4月26日（金）まで

(2) 閲覧方法：水資源機構ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた見積資料についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

(1) この参考見積依頼書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

(2) ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

—以上—

見積仕様書

業務名 長良川河口堰フォローアップ関連資料作成業務（仮称）

第1節 適用

1-1 業務目的

本業務は、長良川河口堰管理事業について、令和7年度中部地方ダム等管理フォローアップ委員会（以下「FU委員会」という）に諮るための定期報告書作成に必要となる令和5,6年次報告書の作成を行うものである。

また、令和2～6年次報告書の作成に用いたデータを用いて、令和7年度定期報告書（概要版を含む）（令和7年度データ更新版）の作成および管理所が保有する環境調査データベースへ登録を行うものである。

1-2 準拠基準

受注者は、設計図書によるほか、次の基準類・様式の最新版によらなければならない。

1. ダム管理等フォローアップ年次報告書 作成の手引き（平成15年版）[水資源機構版]
2. ダム管理等フォローアップ定期報告書 作成の手引き（平成26年版）
3. 中部地方ダム等管理フォローアップ 平成30～令和5年次報告書 [長良川河口堰]
4. 中部地方ダム等管理フォローアップ 令和2年度定期報告書 [長良川河口堰]
5. その他、調査職員が指示するもの

第2節 業務内容

2-1 計画準備等

受注者は、業務の目的、内容を把握した上で、水資源機構が別に定める設計業務等共通仕様書（令和6年4月）第1編第1章12節に基づき、業務計画書を作成し調査職員に提出するものとする。

2-2 令和5,6年次報告書(案)作成

第1節1-2に示す準拠基準に基づき令和5,6年次の調査データの整理とりまとめを行い、令和7年度に開催予定のFU委員会に諮るための定期報告書作成に必要となる令和5,6年次報告書(案)（以下「年次報告書(案)」という）の作成を行うものとする。

1. 対象期間

- (1) 年次報告書(案)作成の対象期間は、令和5,6年度(2ヶ年)とする。
- (2) 既往の年次報告書において、過去からのデータの連続性に基づき整理・評価している項目については、対象期間外に実施された調査結果についても年次報告書(案)に記載するものとする。

2. 年次報告書(案)作成用データ整理及びとりまとめ

既往の年次報告書に掲載されている図表の作成に必要なデータは、令和5年4月から令和7年3月までの期間について整理及びとりまとめを行うものとする。

3. 年次報告書(案)作成

- (1) 前号2.の成果を基に、洪水調節及び利水補給等の実績（しゅんせつによる治水効果・利水効果）、水質調査、底質調査（河床変動・底質）、生物調査、塩害防止・地下水位の変動について年次報告書(案)としてとりまとめるものとする。

- (2) 年次報告書(案)の作成にあたっては、第1節1-2に示す準拠基準に基づき、既往の年次報告書の修正を基本とする。
- (3) 参考として、令和4年次報告書の構成及び掲載図表を別添資料-1に示す。

2-3 令和7年度定期報告書作成

第1節1-2に示す準拠基準に基づき、令和2年度定期報告書に令和2～6年度までのデータを追加し、令和7年度定期報告書本編および概要版の作成を行うものである。

1. 対象期間

定期報告書作成の対象期間は、令和2～6年度(5ヶ年)とする。

ただし、既往の定期報告書において、過去からのデータの連続性に基づき整理・評価している項目については、対象期間外に実施された調査結果についても定期報告書(時点更新版)に記載するものとする。

2. データの整理及びとりまとめ

令和7年度定期報告書に掲載する図表等のデータは、令和5年3月までは整理及びとりまとめてあるため、本業務においては令和5年4月から令和7年3月までの期間について整理及びとりまとめを行うものとする。

3. 定期報告書本編の作成

- (1) 前号2.の成果を基に、長良川河口堰管理事業の概要、治水、高潮及び津波、利水、塩害防止・地下水位の変動、水質・底質、生物、今後の調査について、参考資料について定期報告書を作成するものとする。
- (2) 定期報告書(案)の作成にあたっては、第1節1-2に示す準拠基準に基づき、既往の定期報告書及び年次報告書の記載内容を踏まえた検討及び評価等を行うものとする。
- (3) 検討及び評価等については、令和2年度FU委員会委員からの主な意見への対応を含むものとする。
- (4) 参考として、既往の定期報告書(令和2年度版)の構成及び掲載されている主要な図表について、別添資料-2に示す。

4. 定期報告書概要版の作成

定期報告書概要版は、パワーポイントにより210頁程度を目処として整理するものとし、使用するパワーポイントのデザインは、既往の定期報告書概要版と同じものとする。

また、令和7年12月開催(予定)のFU委員会に向けて、以下の各時点での資料作成及び指摘・指導があった場合に各々について対応(案)を作成し、定期報告書(案)概要版の修正を行うものとする。

なお、開催時期及び作成資料については予定であり、変更する場合がある。

(1) 現地視察

開催時期：令和7年10月頃

作成資料：令和7年度定期報告書(案)概要版作成

作成時期：令和7年9月中旬まで

(2) 事前説明

開催時期：令和7年11月頃

作成資料：現地視察時の指摘・指導を受けての令和7年度定期報告書(案)概要版修正

作成時期：令和7年10月末

2-4 指摘・指導への対応

令和7年12月開催（予定）のFU委員会時に指摘・指導があった場合において、対応（案）を作成し、定期報告書（案）及び概要版の修正を行うものとする。また、FU委員会の審議後において、議事要旨（案）を作成するものとする。

(1) 事前説明

開催時期：令和7年12月頃

作成資料：委員会時の指摘・指導を受けての定期報告書（案）及び概要版の作成・修正

作成時期：令和7年10月末

2-5 環境調査データベース登録

既往業務で作成された環境調査データベース（html形式の目次からExcel等のデータファイルにリンクする形式）へ、別添資料-3に示す調査データを追加するものとする。

1. 登録データ

既往のデータベース及び今回追加するデータ等については機構より貸与する。

2. 追加登録期間

追加するデータの期間は、各項目の既入力済み日以降から令和7年3月分までとする。

－ 以 上 －

歩掛参考見積書記載例 (業務名) 長良川河口堰フォローアップ関連資料作成業務(仮称)

種 別	細 別	単 位	主任技師 (人)	技師(A) (人)	技師(B) (人)	技師(C) (人)	技術員 (人)	備 考
計画準備		1式						令和6年度実施予定
	計画準備	1式						令和5、6年次報告書(案)作成 令和7年度定期報告書(案)作成
	令和5年次報告書(案)作成	1式						令和6年度実施予定
	データ整理及びとりまとめ	1式						
	年次報告書(案)作成	1式						
	令和6年次報告書(案)作成	1式						令和7年度実施予定
	データ整理及びとりまとめ	1式						
	年次報告書(案)作成	1式						
	令和7年度定期報告書(案)作成	1式						令和7年度実施予定
	データ整理及びとりまとめ	1式						
	定期報告書本編(案)の作成	1式						
	定期報告書概要版(案)の作成	1式						現地視察及び事前説明を受けての 修正を含む
	指摘・指導への対応	1式						令和7年度実施予定
	定期報告書本編(案)及び概要版 (案)修正	1式						委員会後の修正
	FU委員会議事要旨(案)作成	1式						
	環境調査データベース登録	1式						
	データベース登録(令和5年度分)	1式						令和6年度実施予定
	データベース登録(令和6年度分)	1式						令和7年度実施予定
合 計								

別添資料-1 令和4年次報告書の構成と掲載図表等

項 目	掲 載 さ れ て い る 主 な 図 表 等	R5、6年次報告書作成時に図表等の更新が必要な項目	備 考
1. 洪水調節及び利水補給の実績（しゅんせつによる治水効果・利水効果）			
1.1 長良川河口堰建設事業の概要			
1.1.1 事業の概要および目的			
(1)事業の概要	河口堰位置図、平面図、上流面図	-	
(2)事業の目的	-		
1.1.2 長良川河口堰事業の経緯	河口堰の経緯一覧(表)	○	
1.2 長良川河口堰の治水効果			
1.2.1 しゅんせつの概要	しゅんせつ区間平面図	-	
1.2.2 水位低下効果	-		
1.2.3 しゅんせつ後の河床変動	河床縦断面(H27)、河床横断面(H27)	-	
1.3 長良川河口堰の利水効果			
1.3.1 新規利水の効果	河口堰利水一覧表、河口堰からの供給区域図、長良導水取水実績図、北中勢水道用水取水実績図	○	
1.3.2 既存用水の常時取水の安定化	長良川のしゅんせつと塩水侵入の防止(図)、既得用水と供給区域図、北伊勢工業用水取水実績図	○	
1.3.3 濁水時における効果	長良川河口堰における新規利水の効果(図)	○	
1.4 長良川河口堰における高潮時の操作			
1.4.1 高潮時の操作	長良川河口堰における高潮操作説明図	-	
2. 水質調査			
2.1 調査内容			
2.1.1 調査計画	フォローアップ計画(表)	○	
2.1.2 実施状況	フォローアップ実施状況(表)	○	
2.1.3 分析方法	測定項目及び分析方法(表)、自動観測項目及び分析方法(表)、調査地点位置図、水質自動観測装置位置図	-	
2.2 気象及び流況			
2.2.1 気象概況	名古屋の気象概況(表)	○	
2.2.2 気温	名古屋の年平均気温(図)	○	
2.2.3 降水量	長良川流域月別降水量(図)	○	
2.2.4 流量	墨俣地点月別平均流量(図)	○	
2.2.5 ゲート全開操作回数	年度別ゲート全開操作回数(図)	○	
2.3 水質			
2.3.1 水温	H6～R2年度の経月変化(図)、観測結果(表)	○	
2.3.2 DO	H6～R2年度の経月変化(図)、観測結果(表)	○	
2.3.3 クロロフィルa	H6～R2年度の経月変化(図)、観測結果(表)	○	
2.3.4 植物プランクトン	水面の観察状況(表)、植物プランクトン・藍藻網の出現状況(表)、特別調査結果	○	
2.3.5 塩化物イオン	H6～R2年度経月変化(図)	○	
2.3.6 BOD、CDO、総窒素、総リン、TOC	H6～R2年度経月変化(図)、観測結果(表)	○	
2.4 水質保全対策			
2.4.1 フラッシュ操作	R2年度フラッシュ操作実績(表)、フラッシュ操作期間の水質状況(図)、フラッシュ操作前後のDOおよびクロロフィルa改善量(図)	○	
2.4.2 DO対策船	運用基準(図)、稼働実績(表)	○	
2.4.3 支川浄化対策	-	-	
3. 底質調査(河床変動・底質)			
3.1 調査内容			
3.1.1 調査計画	フォローアップ計画(表)、調査地点位置図	○	
3.1.2 実施状況	フォローアップ実施状況(表)	○	
3.1.3 分析方法	底質調査における分析項目と分析方法(表)	-	
3.2 河床変動状況			
3.2.1 堰直下における河床変動状況	河床高測定位置(図)、河床高経年変化(図、表)	○	
3.2.2 音響測深機による河床変動状況調査	調査実施日(表)、調査測線位置(図)、河床横断経年変化(図)	○	
3.3 底質(定期調査)			
3.3.1 分布状況	細粒含有率と強熱減量の関係(図)	○	
3.3.2 経時変化	H6～R2年度底質分布(図)、底質定期調査分布(R2年度)(図)、H6～R2年度調査結果(細粒含有率、強熱減量、酸化還元電位、総炭素、総窒素、クロロフィル分解物、フェオ色素)(図)	○	
4. 生物調査			
4.1 魚類等の遡上及び降下の状況			
4.1.1 魚類等の遡上状況			
4.1.1.1 魚道等における魚類(アユ)の遡上状況の確認			
1)調査地点	調査地点位置(図)	-	
2)調査方法	魚道等における遡上状況調査位置(図)	-	
3)調査結果	H7～R2年度の累積日遡上数(図)、遡上状況総括表(表)、遡上状況(図)、河川流量・潮汐及び水温の経時変化とアユの遡上状況の関係(図)、水温別平均遡上数(図)、調査時間別平均遡上数(図)、堰下流水位別平均遡上数(図)、H6～R2年度の木曾三川河口域における表層水温の経月変化(図)、長良川・木曾川におけるアユ遡上数の経年変化(図)、S51～R2年度木曾三川のアユの漁獲量及び放流量(図)	○	
4.1.1.2 長良川・木曾川・掛斐川中流域におけるアユの全長組成			
1)調査地点	調査地点位置(図)	-	
2)調査方法	調査日程(表)	○	
3)調査結果	木曾三川中流域におけるアユの全長組成の経年変化(図)、河口堰におけるアユの全長組成の経年変化(図)、河口堰における遡上時期ごとのアユの全長組成の経年変化(図)	○	
4.1.1.3 堰上流水域における魚類(サツキマス)の遡上状況の確認			
1)調査方法			
2)調査結果	岐阜市場における長良川産サツキマスの入荷状況(図)、岐阜市場の河川別入荷量比率、H7～R2年度の長良川産サツキマスの累積日入荷量(図)、サツキマス入荷状況(表)、S51～R2年度の木曾三川のサツキマスの漁獲量およびモルトアマゴの放流量(図)	○	
4.1.1.4 回遊性底生魚の遡上状況			
1)調査地点	調査地点位置(図)	○	調査位置変更
2)調査方法	調査器具(図)、夜川漁の概要(図)、ごろ引き漁の概要(図)	○	漁法変更による修正
3)調査結果	河口堰地点及び堰上流地点の遡上状況(図、表)	○	
4.1.2 仔アユの降下の状況			
1)調査地点	調査地点位置(図)	-	
2)調査方法	調査器具(図)、調査箇所(図)	○	
3)調査結果	仔魚の降下数の経年変化(図)	○	
4.2 動植物や魚介類の生息状況			
4.2.1 モニタリング計画の概要			
4.2.1.1 モニタリング範囲	モニタリング範囲の考え方(図)	-	
4.2.1.2 モニタリング地区の配置	モニタリング位置図、各地区の観測内容(表)	○	
4.2.1.3 モニタリング内容	モニタリング計画(表)	○	
4.2.1.4 令和元年度の調査内容	現地調査実績表	○	
4.2.2 底生動物調査			
4.2.2.1 調査目的	-	-	
4.2.2.2 調査方法	調査位置(図)、調査実施状況(写真)、実施方法(表)	○	
4.2.2.3 調査結果	確認種数(図)、確認種一覧(表)、各地点の確認個体数と現存量(図)、各地点の優占種(表)、重要種の確認状況(表)、外来種の確認状況(表)	○	
5. 塩害防止・地下水位の変動			
5.1 塩分の状況			
5.1.1 調査内容	フォローアップ計画(表)	○	
5.1.2 浅層地下水(塩化物イオン濃度)	調査地点位置(図)、長良川右岸16km付近の地質概略(図)、H6～R元年度の地下水の塩化物イオン濃度の経年変化(図)、長良川右岸16km付近の浸透水の推定移動経路(図)、H11～R2年度塩化物イオン濃度分布(図)、深度別の観測井の水頭の経年変化(図)	○	
5.2 地下水位の変動			
5.2.1 調査内容	フォローアップ計画(表)	○	
5.2.2 河川巡視による目視観察	-	○	
5.2.3 深層地下水位	観測所位置図、H6～R2年度の各地点における地下水位の経年変化(図)	○	
6. 巻末資料			
6.1 堆砂状況調査			
6.1.1 参考写真			
○底質定期調査	採泥状況等	○	
○音響測深調査	現地調査状況等	○	
6.2 水質調査			
6.2.1 長良川河口堰気象情報(速報値)	天気、気温、雨量、風速、風向、墨俣流量の月表(表)	○	
6.2.2 参考写真			
○水質詳細調査	採水状況、プランクトン分析状況、測定状況	○	
○水質自動監視装置	観測局舎、採水塔、観測局舎内の自動測定装置	○	
○水面監視パトロール	パトロール状況、透明度測定状況等	○	
6.3 生物調査			
6.3.1 参考資料			
アユ推定遡上数の算定方法			
(1)河口堰地点におけるアユの推定遡上数	各魚道におけるアユ遡上比率(図)、左岸呼び水式魚道(陸側)とアユ遡上比率と4～5月堰平均流出量の相関(図)	○	
(2)長良川中流域地点におけるアユの推定遡上数	堰地点アユ遡上数と堰上流域アユ推定遡上数の関係(図)	○	
(3)その他			
○貝品種別漁獲量	月別漁獲量表(図)、H7～R2年の年別漁獲量(図)	○	
○シラウオ漁獲量	S60～R2年の年別シラウオ漁獲量(図)	○	
○近年におけるシジミ漁獲量	H5～R2年のシジミ漁獲量(表)、H8～R2年のシジミ漁獲量の区域別集計表(表)、H8～R2年の操業区域別ヤマトシジミ漁獲量(図)	○	
6.3.2 参考写真			
○アユ遡上調査の状況	観測状況、ビデオ撮影状況、アユ遡上状況	○	
○底生動物調査状況	調査状況、重要種の分布状況、確認された重要種、外来種の分布状況、確認された外来種	○	

項目	掲載されている主な図表等	令和2年度定期報告書対象期間	今時点更新を行う項目
1. 事業の概要			
1.1 流域の概要			
1.1.1 自然環境	長良川の流域図、長良川流域の諸要素(表)、木曾川水系年平均等雨量線図		
1.1.2 社会環境	長良川中下流域市町村の人口及び世帯数の推移(図表)	S60～H27	○
1.1.3 治水と利水の歴史	木曾三川下流部の治水の歴史(図) 木曾三川下流部における水害の状況(写真)、長良川流域の洪水防御計画(図)、長良川におけるしゅんせつ前後の水位縦断比較図、治水対策(しゅんせつ工事)に伴う塩害の防止(図)、長良川河口堰による塩水防止効果(図) 木曾川水系の年間降水量の経年変化(図)、近年の安定供給量(図)、長良川河口堰による安定供給可能量(表)、木曾川水系における水資源開発基本計画の経緯(表)、長良川下流部における利水の状況(図)、長良川のしゅんせつと塩水侵入の防止(図)		
1.2 河口堰建設事業の経緯			
1.2.1 河口堰建設事業の経緯	長良川河口堰事業の経緯(表)	S35～H28	○
1.2.2 事業の目的	—		
1.2.3 施設の概要	長良川河口堰位置図、長良川河口堰の諸言及び管理施設の概要(表)、長良川河口堰施設模式図、長良川河口堰平面図及び上流面図		
1.3 管理事業等の概要			
1.3.1 河口堰の管理	長良川河口堰管理事業一覧表(表)	H12～R2	○
1.3.2 河口堰(水面等)の利用実態	長良川河口堰周辺で行われたイベントの一覧(表、写真)	R2	
1.3.3 流域の開発状況	長良川中下流域市町村の事業所数及び製造品出荷額の推移(図表)、岐阜市の業種別出荷額(図表)	S55～H29	○
1.4 河口堰管理体制等の概況			
1.4.1 日常の管理	ゲート操作の区分(図)、調節ゲートの操作状況(図)、魚類の遡上・降下に配慮したゲート操作(図)、アユの産卵・ふ化情報を踏まえた堰流出量の増加操作(図)、長良川河口堰の魚道(図)、呼び水式魚道の操作(図)、ロック式魚道の操作(図)、せせらぎ魚道(図)、閘門の操作及び通航の方法(図)、閘門操作実績(表)、洪水時のゲート操作(図)、洪水時のゲート操作実績(表)、高潮時のゲート操作(図)、高潮時のゲート操作実績(表)、津波時のゲート操作実績(表)	H7～R2	○
1.4.2 出水時の管理計画	防災情報伝達先(表)		
1.4.3 施設管理規定の変更	洪水時の堰操作に伴う塩水遡上の防止策(図)		
1.5 図表の出典リスト	定期報告書に使用した図表の出典リスト(表)		
1.6 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
2. 治水			
2.1 評価の進め方			
2.1.1 評価方針	—		
2.1.2 評価手順	—		
2.1.3 必要資料の収集・整理	—		
2.2 浸水想定区域の状況	長良川浸水想定区域図		
2.3 洪水時等の状況			
2.3.1 洪水時等の管理実績	ゲート全開操作実績(表)、全開操作中の様子(写真)、洪水時の全開操作実績(表)、操作状況図(図)	H7～R2	○
2.4 しゅんせつの効果			
2.4.1 しゅんせつによる水位低下効果	気象状況(平成30年7月出水)(図)、出水状況(平成30年7月出水)(図)、主な出水における水位低下効果(表)、水位低下効果図(H30年7月出水)【墨俣地点】(図)、はん濫注意水位継続時間短縮効果図(H30年7月出水)【墨俣地点】(図)	H6～R2	○
2.5 しゅんせつ後の河床変動	長良川平均河床高縦断図(図)、長良川河床横断図(図)	H6～R2	○
2.6 まとめ			
2.6.1 治水効果の検証結果及び評価	治水効果の県境結果及び評価の概要(表)	H6～R2	○
2.6.2 今後の課題	—		○
2.7 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
3. 利水			
3.1 評価の進め方			
3.1.1 評価方針	—		
3.1.2 評価手順	—		
3.1.3 必要資料の収集・整理	—		
3.2 利水実績			
3.2.1 新規利水の取水実績	河口堰利水一覧表、河口堰からの供給区域図、長良導水取水実績図、北中勢水道用水取水実績図	H10～R2	○
3.2.2 既存用水の常時取水の安定化	長良川のしゅんせつと塩水侵入の防止(図)、マウンドしゅんせつ前後の河床高と取水口の関係(図)、北伊勢工業用水等の供給区域図、北伊勢工業用水取水実績図	H17～R2	○
3.3 渇水時における効果			
3.3.1 河口堰による利水効果	愛知用水及び長良導水の供給区域(図)、愛知用水供給区域の取水制限日数(図)、知多半島供給区域の取水制限日数(図)	H6～R2	○
3.3.2 平成17年渇水における利水効果	牧尾ダム貯水量曲線(図)、平成17年における河口堰の活用(図)、平成17年渇水における利水効果(図)	H17	
3.4 まとめ			
3.4.1 利水効果の検証結果及び評価	利水効果の検証結果及び評価の概要(表)		○
3.4.2 今後の課題	—		○
3.5 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
4. 塩害防止・地下水位の変動			
4.1 評価の進め方			
4.1.1 評価方針	—		
4.1.2 評価手順	—		
4.1.3 必要資料の収集・整理	長良川下流部における塩分の状況・地下水位の状況に関する既往調査の概要(表)	H6～R2	○
4.2 観測結果等の収集・整理			
4.2.1 塩分・地下水位の調査状況	浅層地下水の塩分濃度の調査結果(図)、表層地下水の塩分濃度の調査地点(図)、地下水位の調査地点(図)	H6～H16	
4.2.2 調査内容の整理	浅層地下水の塩化物イオン濃度の調査地点位置(図)、塩化物イオン濃度分の調査測線位置(長良川右岸16.0km付近)(図)、長良川右岸16km付近の地質概略図(図)、地下水位観測所位置図(長島輪中、高須輪中、桑		
4.3 塩分・地下水位の変化の検証			
4.3.1 塩分の状況	高須輪中における浅層地下水の塩化物イオン濃度の経年変化(図)、高須輪中の塩化物イオン濃度分布(図)、塩化物イオン濃度分布の経年変化(図)、長良川右岸16.0km付近の浸透水の推定移動経路(図)、調査時における観測井の水頭の水頭の変化(図)、調査時における観測井の水頭の水頭の経年変化(図)	H6～R2	○
4.3.2 深層地下水位の状況	各地点の地下水位(長島輪中、高須輪中、桑原輪中)(図)	H6～R2	○
4.4 まとめ			
4.4.1 塩害の防止	塩害の防止に関する検証結果及び評価(表)		○
4.4.2 地下水位の変動	地下水位の変動に関する検証結果及び評価(表)		○
4.5 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
5. 水質・底質			
5.1 評価の進め方			
5.1.1 評価方針	—		
5.1.2 評価手順	—		
5.1.3 必要資料の収集・整理	—		
5.2 基本事項の整理			
5.2.1 環境基準類型指定状況の整理	堰上下流域の生活環境保全に関する環境基準の指定状況と水質調査地点(図)、生活環境保全に関する環境基準(表)、人の健康の保護に関する環境基準(表)		○
5.2.2 水質・底質調査状況	水質調査地点(図)、底質調査地点(図)、水質調査実施状況内容(表)、底質調査実施状況内容(表)、水質・底質調査実施状況内容(表)	H7～R2	○
5.3 長良川の水質及び汚濁負荷量の状況			
5.3.1 長良川流域の水質	長良川流域の水質汚濁に係る環境基準類型指定状況(図)、長良川流域の環境基準地点におけるBOD75%値の状況(図)	R2	○
5.3.2 流域の汚濁負荷量	墨俣地点の実測汚濁負荷量経年変化(図)、長良川流域関係市町村下水道処理人口普及率(図表)、岐阜県市町村別下水道普及率(図)	H4～R2	○
5.4 水質状況の整理			
5.4.1 流量の状況	忠節地点流況の経年変化(図)、年別の忠節地点最大時刻流量(表)、年度別ゲート全開操作回数(図)	H4～R2	○
5.4.2 水質の経年変化	公共用水域調査結果による表層水質及び流況の経年変化(水質8項目・5地点)(図)	H6～R2	○
5.4.3 表層・低層水室の経月変化・季節変化	公共用水域調査結果による表層・低層水質の経月変化・季節変化(水質9項目・5地点)(図)、詳細調査結果による表層・低層水質の季節変化(水質9項目・5地点)(図)	H6～R2	○
5.4.4 水質の縦断変化	公共用水域調査結果による表層水質の縦断変化(水質8項目・5地点)(図)	H4～R2	○
5.4.5 河口堰運用後の堰上下流水質の変化	水質自動監視装置による堰上下流水質の経月変化(水質2項目・3層・2地点)(図) 水質自動監視装置による堰上下流水質の経月変化(水質1項目・2地点)(図)	H6～R2	○
5.4.6 植物プランクトンの発生状況	伊勢大橋における植物プランクトン出現割合の経年変化(網別、淡水・海水産別)(図)、伊勢大橋における出現藻類の細胞数と組成の変遷(図)	H6～R2	○
5.4.7 水質障害の発生状況	—	H6～R2	○
5.4.8 水質保全と運用状況			
5.4.8.1 フラッシュ操作	フラッシュ操作の概念図(図)、フラッシュ操作の運用方法(表)、フラッシュ操作実施状況(概況、各年の詳細)(表)、フラッシュ操作の底層DOの変化(前後比較、改善率、改善量・回数、低層・底層の関係、地点間比較、水温とDOの関係、流況とDOの関係、経時変化)(図)、フラッシュ操作の運用方法(表・図)、年度別改善状況(年度別、流量別、放流ゲート別のフラッシュ前後比較)(表・図)、フラッシュ操作による表層Chl-aの変化(前後比較、改善率、改善量・回数、流況とChl-aの関係)(図)	H12～R2	○
5.4.8.2 水質対策船	DO対策船の運用方法(表)、DO対策船の運用状況(表)、DO対策船の稼働実績(図・表)	H7～R2	○

項目	掲載されている主な図表等	令和2年度定期報告書対象期間	今時点更新を行う項目
5.4.8.3 支川浄化施設	支川浄化施設位置図、支川浄化施設模式図、施設整備の経緯(表)、支川流域の土地利用状況(表)、汚水処理人口普及率(表・図)、支川水質及び流域市町村汚水処理人口普及率(図)、汚濁負荷除去率(表)、支川の水量及び水質(表)、水質負荷除去量(表)、汚濁負荷の低減寄与率(表)	H6～R2	○
5.5 底質状況の整理			
5.5.1 河床変動状況	堰直下における河床変動状況調査位置(図)、堰直下における河床変動状況(図)、音響測深機による河床変動状況調査日と主な出水(表)、音響測深機による河床変動状況調査位置図、音響測深機による河床横断重ね合わせ図(図)	H7～R2	○
5.5.2 河口堰運用前の底質の状況	底質分布図(図)、堰運用前の地質調査位置・堆積状況(図)	S53～S63	
5.5.3 底質の経年変化	底質分布図(図)、河口堰運用後の底質堆積状況(図)、測線別の粒度組成の経年変化図(図)、測線別の底質項目の経年変化(4項目)(図)、細流分含有率と底質項目の相関図(図)、項目間の相関係数と傾きの一覧(表)	H6～R2	○
5.6 まとめ			
5.6.1 水質の評価	経年的水質の検証結果及び評価(表)		○
5.6.2 植物プランクトンの発生状況に対する評価	植物プランクトンの発生状況の検証結果及び評価(表)		○
5.6.3 フラッシュ操作による水質保全効果の評価	フラッシュ操作による水質保全効果の検証結果及び評価(表)		○
5.6.4 水質対策船に対する評価	水質対策船による水質保全効果の検証結果及び評価(表)		○
5.6.5 支川浄化施設の効果に関する検証結果及び評価	支川浄化施設の効果に関する検証結果及び評価(表)		○
5.6.6 底質の評価	底質の経年変化の検証結果及び評価(表)		○
5.7 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
6. 生物			
6.1 評価の進め方			
6.1.1 評価方針	—		
6.1.2 評価手順	検討フロー(図)		
6.1.3 資料の収集	生物関連の調査に関する資料収集の対象(表)、長良川下流部における生物に関する既往調査の概要(表)		○
6.1.4 調査内容の整理	【魚類】(一般魚類、稚アユ遡上、仔アユ降下、サツキマス遡上、回遊性底生魚遡上) 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図)、調査器具(図) 【底生動物】 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図)、調査器具(図) 【植物プランクトン】 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図)、調査器具(図) 【植物】(植物、水生植物、河川環境基図) 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図) 【鳥類】 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図) 【両生類・爬虫類・哺乳類】 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図)、調査器具(図) 【陸上昆虫類】 調査実施年度(表)、地区別調査実施状況(表)、調査地区(図)、調査器具(図)	H6～R2	○
6.2 河口堰周辺の環境の把握			
6.2.1 河口堰周辺の環境の概況の把握	長良川流域図、長良川河口堰周辺植生図		
6.2.2 フォローアップ調査等における確認種の把握	河口堰周辺における確認状況(魚類、底生動物、植物プランクトン、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類)(表)、河口堰周辺における重要種の確認状況(魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類)(表)、河口堰周辺における外来種の確認状況(魚類、底生動物、植物、両生類・爬虫類・哺乳類)(表)	H6～R2	○
6.3 生物の生息・生育状況の変化の検証			
6.3.1 影響要因及び生物の生息・生育状況の変化の整理	想定される環境への影響要因と生物の生息・生息環境条件の変化(図)、木曾川水系年平均等雨量線図、長良川河口堰事業の経緯(表)、経年変化(流況、水質、植生分布)(図)、長良川中下流域の水質状況(表)、魚類の放流量(アユ、サツキマス)(図)	H6～R2	○
6.3.2 生物相の変化の検証	検証の視点(表)、分析項目の選定結果(表) 【魚類】 確認種類数の経年変化(目別・調査地点別、目別・堰上下流区分別)(図)、確認個体数の経年変化(目別・調査地点別、目別・堰上下流区分)(図)、生活型別種類数比率(図)、確認種類数の経年変化(生活型別・調査地点別、生活型別・堰上下流区分別)(図)、確認個体数の経年変化(生活型別・調査地点別、生活型別・堰上下流区分別)(図)、調査地点別の優占種出現状況(表)、経年変化(多様度指数、類似度指数)(図) 【底生動物】 確認種類数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、確認個体数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、調査地点別の優占種出現状況(表)、経年変化(多様度指数)(図) 【植物プランクトン】 確認種類数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、細胞数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、調査地点別の優占種出現状況(表)、発生状況と環境要因(細胞数と流量、細胞数と水温)の関係(図) 【植物(植物相)】 確認種類数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、調査地点別の優占種出現状況(表)、経年変化(ベルトランセクト調査)(図、表)、植生の分布状況(図) 【植物(水生植物)】 確認種類数の経年変化(調査地点別、堰上流域)(図)、調査地点の概況(表)、年度別出現状況(表)、経年変化(横断分布)(図、表) 【鳥類(河川敷鳥類、河川水鳥)】 確認種類数・個体数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図)、季節別の優占種出現状況(表、図)、経年変化(多様度指数)(図) 【両生類・爬虫類・哺乳類】 確認種類数の経年変化(調査地点別、堰上下流区分別)(図) 【陸上昆虫類】	H6～R2	○
6.3.3 生態系等の変化の検証	陸域・水域ハビタットの特徴(表)、陸域ハビタットの面積割合(図)、ハビタットの経年変化(陸域、水域)(図)	H6～R2	○
6.3.4 重要種の変化の検証	重要種の確認状況(魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類)(表)、河口堰と関わりの深い重要種の選定結果(表)、河口堰と関わりの深い重要種の確認状況(図)・検証結果(表)	H6～R2	○
6.3.5 外来種の変化の検証	外来種の確認状況(魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類)(表)、河口堰と関わりの深い外来種の選定結果(表)、河口堰と関わりの深い外来種の確認状況(図)・検証結果(表)	H6～R2	○
6.3.6 注目種の変化の検証	長良川河口堰と関わりの深い注目種の選定結果(表) 【魚類(アユ)】 遡上実測数(図、表)、遡上開始時期と水温の関係(図、表)、長良川・木曾川の遡上数の経年変化(図)、地点別の全長組成(図)、遡上時期ごとの全長組成(図)、全長組成の経年変化(図)、仔アユの流下数の経年変化(図)、仔アユの消化管内容物分析結果(表)、漁獲量・放流量の経年変化(図)、検証結果(表) 【魚類(サツキマス)】 市場入荷量(図、表)、河川別入荷数の経年変化(図)、漁獲量・放流量の経年変化(図)、検証結果(表) 【底生動物(ヤマトシジミ)】 地点別確認個体数の経年変化(図)、漁獲量(木曾三川全体、操業区別)(図)、検証結果(表) 【植物(ヨシ)】 植生分布状況の経年変化(図)、検証結果(表)	H6～R2	○
6.4 生物の生息・生育状況の変化の評価	生物の生息・生育状況に関する検証結果及び評価(表) 生態系の状況に関する検証結果及び評価(表) 重要種の生息・生育状況に関する検証結果及び評価(表) 外来種の生息・生育状況に関する検証結果及び評価(表) 注目種の生息・生育状況に関する検証結果及び評価(表)		○
6.5 環境保全対策の効果の評価			
6.5.1 環境保全対策の整理	環境保全対策の実施状況(表)、ヨシ原再生事業の実施状況(図、表)		○
6.5.2 環境保全対策の結果の整理	調査の実施状況(表)、モニタリングによる結果(確認状況、経年変化)(図、表)		○
6.5.3 環境保全対策の効果の評価	効果の評価(表)		○
6.5.4 環境保全対策の課題の整理	課題の整理結果(表)		○
6.5.5 今後の対応方針の整理	—		
6.6 まとめ			
6.6.1 生物の検証結果及び評価	生物の検証結果及び評価の概要(表)		○
6.6.2 今後の課題	—		○
6.7 文献リスト	定期報告書の作成に使用した文献リスト(表)		○
7. 今後の調査について	防災、水質及び底質、生物に関する令和2年度以降のフォローアップ調査計画(表)	—	
8. 参考資料			
8.1 長良川河口堰における高潮時の操作	高潮操作説明図、高潮移行時のゲート操作実績(表)、施設管理規程第7条2項の二による全閉操作の実績(表)、平成30年台風21号及び24号における高潮操作状況(図)	H7～R2	○
8.2 長良川河口堰における津波時の操作	津波時のゲート操作(表)	H7～R2	○
8.3 底質の経年変化(揖斐川、木曾川)	経年変化図(粒度組成、強熱減量とORP、全炭素と全窒素)(図)、細粒分含有率、強熱減量、ORPの関係(図)	H6～R2	○
8.4 河川水辺の国勢調査の植物基本分類に基づく植生面積の経年変化	植生分布の経年変化(図)、植生の分布状況(図)	H6～R2	○

別添資料-3 環境調査データのデータベース化

着色した項目は、追加等の必要がない項目(既に調査終了した項目、又は数年に一度の調査で該当しない項目)
【データの入力についての凡例】 ●:入力済み ▲:入力作業中 ○:新規入力(R6/3まで対象)

Table with columns: 区分, 調査名, 調査項目(入力データの項目), 調査地点, 調査頻度(入力データの頻度), 調査結果の入力状況(調査年度), and 15 columns for years H6-R5. Rows include categories like 防炎 (Fire Prevention), 水質 (Water Quality), 底質 (Bottom Quality), and 河床 (Riverbed).

別添資料-3 環境調査データのデータベース化

着色した項目は、追加等の必要がない項目(既に調査終了した項目、又は数年に一度の調査で該当しない項目) 【データの入力についての凡例】 ●:入力済み ▲:入力作業中 ○:新規入力(R6/3まで対象)

Table with columns for 区分 (Category), 調査名 (Survey Name), 調査項目 (Survey Items), 調査地点 (Survey Locations), 調査頻度 (Survey Frequency), and 調査結果の入力状況 (Survey Results Input Status). Rows include categories like 水質・底質 (Water Quality/Bottom Quality), 魚類 (Fish), 底生動物 (Benthic Animals), 植物 (Plants), 鳥類 (Birds), 昆虫 (Insects), and 気象 (Weather).

年	月	日	曜日	スケジュール				備考	
2024	4	5	(金)						
		6	(土)						
		7	(日)						
		8	(月)						
		9	(火)						
		10	(水)	公募開始(HP掲載)	質問-受付開始				
		11	(木)						
		12	(金)						
		13	(土)						
		14	(日)						
		15	(月)						
		16	(火)						
		17	(水)		質問-受付終了				
		18	(木)			質問回答-決裁			
		19	(金)			質問回答-HP掲載	見積-提出開始		
		20	(土)						
		21	(日)						
		22	(月)						
		23	(火)						
		24	(水)						
		25	(木)						
		26	(金)				見積-提出期限		
		27	(土)						
		28	(日)						
		29	(月)						
		30	(火)						
			5	1	(水)				
				2	(木)				
				3	(金)				
				4	(土)				
	5	(日)							